

Scinable EC Intelligenceバージョンアップリリースのご案内

2024年7月

株式会社シナブル

貴社におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ではございますが下記のとおり主なバージョンアップ内容をお知らせいたします。一部リリース済みの機能がございます。

最新のヘルプと導入ガイド(仕様書)は下記よりダウンロードいただけます。

ヘルプ

<https://help.scinable.com/>

導入ガイド

https://help.scinable.com/?page_id=260

PW: uJGh1eQjD2FVi

1. アナライズ.....	5
1.1.【カスタムピボット】集計項目の設定可能箇所追加.....	5
1.2.【カスタムピボット】不完全結合(LEFT JOIN)に対応.....	8
1.3.【多次元分析】集計項目「決算年度」を追加.....	8
1.4.【多次元分析】レポートの設定画面に、集計項目のテーブル名とカラム名を表示..	9
1.5.【多次元分析】、集計項目「会員.所持ポイント」、「会員.最短ポイント有効期限」を追加.....	10
1.6.【多次元分析】レポートメールの検索条件に、「メールアドレス」を追加.....	10
1.7.【多次元分析】レポートメールで、出力するファイル形式を選択できるプルダウンを追加.....	11
1.8.【顧客ツリー分析】CSV出力時のソート順変更.....	11
1.9.【顧客ツリー分析】完了後、要素の配置変更保存に対応.....	12
1.10.【顧客ツリー分析】ラベル機能を追加.....	12
2. メルマガ.....	13
2.1.購読解除ボタン(List-Unsubscribed)の方式を変更.....	13
2.2.購読解除時に、該当メルマガ情報を保存.....	14
2.3.【配信情報設定画面】購読解除者へも送信可能な選択肢を追加.....	14
2.4.【配信情報設定画面】対象グループ「全て」を選択、「購読解除者にも送信する」にチェックを入れると、低速配信するよう変更.....	14
2.5.【コンテンツ作成画面】ChatGPTによる、タイトルとテキスト本文自動生成機能を追加.....	15
2.6.【コンテンツ作成画面】テスト配信で、短縮URL利用可能に.....	16
2.7.【コンテンツ作成画面】一括設定URLパラメータで、会員別の変数差し込みに対応.	16
2.8.【コンテンツ作成画面】配信確認ダイアログに、配信予想件数を追加.....	16
2.9.【配信レポート】送信リストの並び順のデフォルトを、配信日時の降順に変更.....	17
2.10.【テンプレート】ラベル機能を追加.....	17
2.11.【テンプレート】ユーザ作成のHTMLをそのまま保存するテンプレートを追加.....	18
2.12.【バウンスメール】配信成功したメールアドレスを、バウンスマップリストから削除..	19
2.13.【その他の設定】オプトアウト(バウンス登録)、オプトイン(バウンス削除)のAPIを追加.....	19
3. アプリ通知.....	20
3.1.【コンテンツ作成画面】アプリを選択するプルダウンを追加.....	20
4. ライン.....	20
4.1.【コンテンツ作成画面】変数と絵文字の同時利用が可能に.....	20
4.2.【リッチメニュー】タブ切り替え機能に対応.....	21
4.3.【リッチメニュー】テンプレート以外の、ユーザ定義のコンテンツ領域が指定可能に..	21
5. メルマガ、SMS、アプリ通知、ライン、ブラウザ通知、ファイルなどの配信チャネル.....	22
5.1.送信件数制限機能を追加.....	22

5.2. 配信日時設定で、月末の指定が可能に.....	22
6. ターゲット抽出.....	22
6.1. 禁則文字(%など)を入力を制限.....	22
7. セグメント.....	23
7.1.【顧客グループ設定画面】セグメント変更時にアラートを表示.....	23
7.2.【顧客セグメント設定画面】「メルマガ」属性に「クリック日時」項目を追加.....	23
7.3.【顧客セグメント設定画面】「会員」属性に「所持ポイント」「最短ポイント有効期限」項目を追加.....	24
8. 接客.....	24
8.1.【サービス設定画面】経過時間ごとに表示できる条件を追加.....	24
8.2.【プロモーション設定画面】class名、id名、変数名の動的置換機能追加.....	25
8.3.【接客効果測定】検索条件に、「サービス名」を追加.....	26
8.4.【接客効果測定】測定指標「クリックCV率」を追加.....	26
8.5.【テンプレート】ラベル機能を追加.....	26
9. アンケート.....	27
9.1.【アンケート設定画面】ウィジェットのコピー機能を追加.....	27
9.2.【アンケート設定画面】タイトルや説明文の編集機能を強化.....	27
9.3.【アンケート回答画面】必須項目の入力漏れ時に、該当箇所までスクロールされるように.....	27
10. 顧客.....	28
10.1.【顧客管理画面】検索条件に「電話番号」、「Line ID」を追加.....	29
11. サーチ.....	29
11.1.【検索API】リクエストパラメータに「allValue」を追加.....	29
12. システム.....	29
12.1.【連携履歴】直近1ヶ月間の連携履歴が確認可能に.....	29
13. データ連携.....	30
13.1. 各種連携ファイル(item.tsv、member.tsv、order.tsv等)をCSV形式にも対応....	30
13.2. 会員データファイル(member.tsv)に、「所持ポイント」「最短ポイント有効期限」の項目を追加.....	30

1. アナライズ

1.1. 【カスタムピボット】集計項目の設定可能箇所追加

カスタムピボットの集計項目について、下記ができるようになりました。

1.1.1. フィルター入力方式に相対日時(N日後等)が指定可能

集計項目 ⑦

カラム ラベル フィルター入力方法 + 追加

date_key 登録日 相対日時
文字列入力
数字入力
日時入力
日付入力
検索ダイアログ
相対日時

+ 削除 + コピー

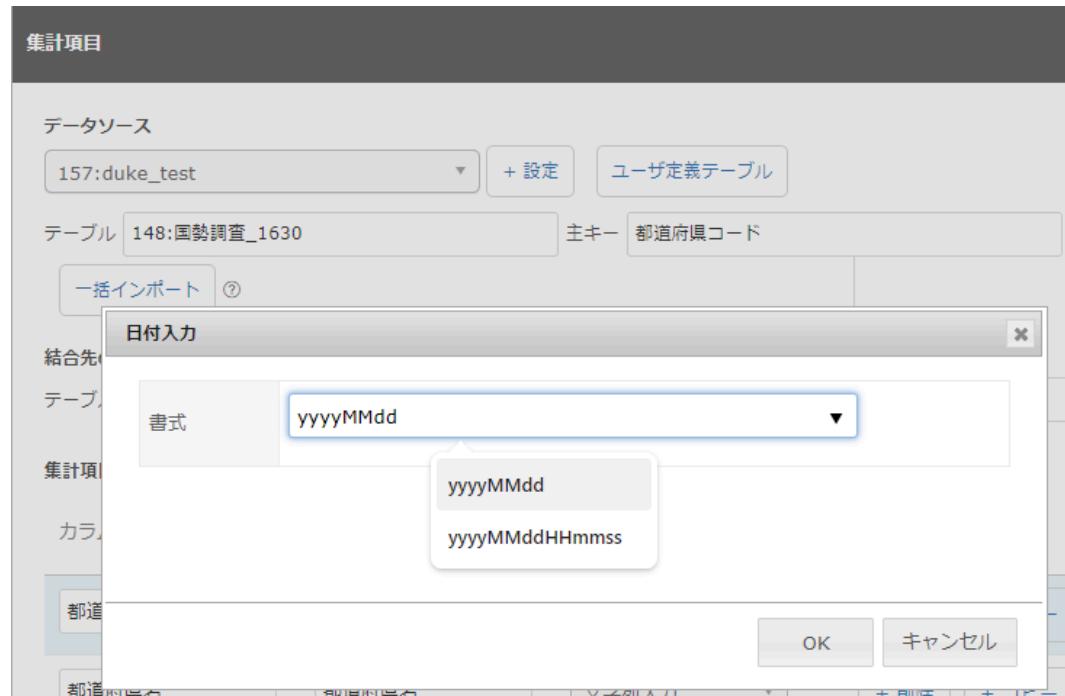
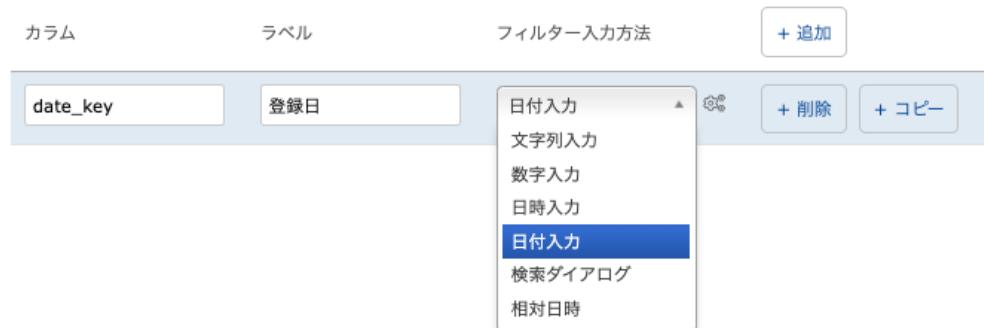
集計項目

相対日時

種類	N 日後
Nの最大値	N 日前
書式	N 日後 自由入力(N日前) 自由入力(N日後) N カ月前 N カ月後 N 時間前 N 時間後 N 年前 N 年後

1.1.2. フィルター入力方式が絶対日時において、書式を変更可能

集計項目 ⑦



1.1.3. 集計項目のコピーが可能

集計項目 ⑦



1.2. 【カスタムピボット】不完全結合(LEFT JOIN)に対応

集計項目のデータがない場合でも、集計やセグメントが可能になりました。



1.3. 【多次元分析】集計項目「決算年度」を追加

年単位ではなく、決算年度単位で集計することが可能になりました。

決算月のデフォルトは3月(4月始まり～3月決算)となっています。

決算月は変更可能ですので、変更をご希望の場合は弊社サポートセンターへお問い合わせください。

●注文日	●決算年度	●注文件数	●商品原価
2019-01-04	2018	2	6,000
2019-01-31	2018	2	6,000
2019-04-02	2019	2	6,000
2019-09-06	2019	2	6,000
2019-10-23	2019	2	6,000
2019-10-31	2019	2	6,000
2019-11-29	2019	2	6,000

1.4. 【多次元分析】レポートの設定画面に、集計項目のテーブル名とカラム名を表示

レポートの設定画面で、各集計項目名の右側にあるツールチップにマウスオーバーすると、その集計項目のテーブル名とカラム名が「.(ピリオド)」区切りで表示されるようになりました。



1.5. 【多次元分析】集計項目「会員.所持ポイント」、「会員.最短ポイント有効期限」を追加

レポートの種類「会員」に、集計項目「会員.所持ポイント」、「会員.最短ポイント有効期限」が追加されました。

今回のバージョンアップにて、会員データファイル(member.tsv)の標準項目に「所持ポイント数」、「最短ポイント有効期限」が追加されました。

詳しくは、本資料の『13.2 会員データファイル(member.tsv)に、「所持ポイント」「最短ポイント有効期限」の項目を追加』をご覧ください。



1.6. 【多次元分析】レポートメールの検索条件に、「メールアドレス」を追加

レポートメールの「配信履歴」タブの検索条件に、配信先の「メールアドレス」を指定して検索できるようになりました。



1.7. 【多次元分析】レポートメールで、出力するファイル形式を選択できるプルダウンを追加

レポートメールの「メール」タブで、出力するファイル形式を「Excel」と「CSV」から選択できるようになりました。



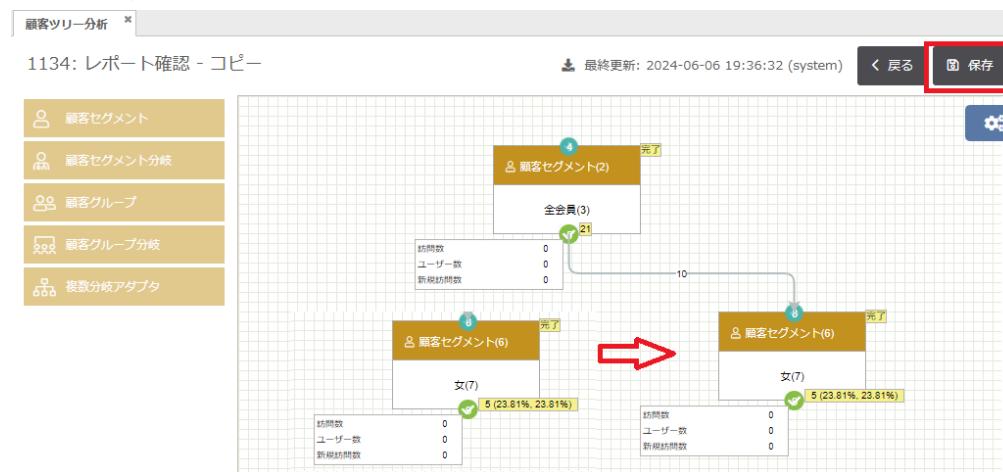
1.8. 【顧客ツリー分析】CSV出力時のソート順変更

顧客ツリー分析で、顧客セグメント分岐パートや開封パート等の✓(Y)と✗(N)があるパートを使用している際にCSVファイルを出力すると、✓(Y)が上に出力されるよう、ソート順が変更されました。

名前	開始日時	セグメント名 顧客グループ名	Y/N	会員数	構成比	ユーザー数	ページビュー	直帰数	新規訪問の割合	直帰率
開発用テスト	202402151450	TOP_1_ALL	Y	1000	0	0	0.00	0.00%	0.00%	
開発用テスト	202402151450	分岐__2	Y	448	44.8%/44.8%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	分岐__2	N	552	55.2%/55.2%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	3_ALL	Y	448	100.0%/44.8%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	分岐__4	Y	31	6.92%/3.1%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	分岐__4	N	417	93.08%/41.7%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	5_ALL	Y	31	100.0%/3.1%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	_ALL	Y	417	100.0%/41.7%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	7__	Y	552	100.0%/55.2%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	分岐__8	N	552	100.0%/55.2%	0	0	0.00	0.00%	0.00%
開発用テスト	202402151450	10_ALL	Y	552	100.0%/55.2%	0	0	0.00	0.00%	0.00%

1.9. 【顧客ツリー分析】完了後、要素の配置変更保存に対応

完了した顧客ツリー分析の要素の配置を変更し、保存できるようになりました。



1.10. 【顧客ツリー分析】ラベル機能を追加

顧客ツリー分析にラベルを付けることができるようになりました。



2. メルマガ

2.1. 購読解除ボタン(List-Unsubscribed)の方式を変更

List-Unsubscribedの方式を、mailto方式から、POST方式(優先)+mailto方式へ変更されました。

それに伴い、Gmailで下記のような「メーリングリストの登録解除」ボタンをクリックした際に表示されるメッセージが変更となります。



Scinable Mall

To duke+25 ▾

メーリングリストの登録解除

▼変更前

登録解除

×

今後 Scinable Mall さん (info@scinable-mall.test) からメールを受け取らないようにしますか？ご利用のメールアカウントから bounce-xxx@ec-mail.scinable.net 宛てにメールを送信することで、Gmail がユーザーに代って配信停止処理を行います。 [詳細を表示](#)

キャンセル

登録解除

▼変更後

登録解除

×

今後 Scinable Mall さん (info@scinable-mall.test) からメールを受け取らないようにしますか？ [詳細を表示](#)

キャンセル

登録解除

2.2. 購読解除時に、該当メルマガ情報を保存

購読解除されると、ECIのバウンスマールアドレスリストへ登録され、次回以降メールを配信しないようになりますが、どの配信で購読解除されたかが保存されるようになりました。

保存される内容は、トリガーとなった配信の「チャンネルID」、「Fromメールアドレス」、「配信名」です。

2.3. 【配信情報設定画面】購読解除者へも送信可能な選択肢を追加

購読解除した会員に対して、メール配信を可能にするオプション「購読解除者にも送信する」が追加されました。

予想件数	<input type="button" value="取得"/>
最大送信件数	<input type="text"/>
購読解除者にも送信する	<input type="checkbox"/>

2.4. 【配信情報設定画面】対象グループ「全て」を選択、「購読解除者にも送信する」にチェックを入れると、低速配信するよう変更

対象グループ「全て」、または「購読解除者にも送信する」にチェックを入れて配信予約をすると、通常の設定よりも低速で配信されるようになりました。

対象グループ「全て」にするとメルマガをオプトアウトしているユーザに、「購読解除者にも送信する」にチェックを入れるとバウンスマールアドレスリストへ登録されたメールアドレスにも配信され、メールサーバのレピュテーション低下に繋がるため、それを防止することを目的としています。

□ 配信情報

配信名	すべてのユーザにお知らせ
ラベル	
顧客グループ	全会員
対象グループ	<input checked="" type="radio"/> 全て
予想件数	<input type="button" value="取得"/>
最大送信件数	<input type="text"/>

低速で配信されます(通常より2倍から10倍遅い - バウンスマール状況によります)。長時間かかることがありますのでご注意ください。

2.5. 【コンテンツ作成画面】ChatGPTによる、タイトルとテキスト本文自動生成機能を追加

メールの概要を記述することで、テキストメールのタイトルと本文を自動生成する機能を追加しました。

※本機能は、今回のバージョンアップリリース時には非表示となっております。表示する際に改めてご連絡いたします。



↓ メールの概要を記入して「生成」ボタン押下

AIメール生成

1/1000

メールの概要を記述してください。

お買い上げサンクスメール

生成

タイトル □
お買い上げありがとうございます！

内容 □
いつもご利用いただきありがとうございます。
この度は弊社の製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
お客様のご要望にお応えできるよう、今後もさらなる商品開発やサービス向上に努めてまいります。
ご購入いただいた商品は、迅速に発送いたしますので、お手元に届くまで今しばらくお待ちください。
また、もし何かご不明な点やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
引き続き、ご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

保存

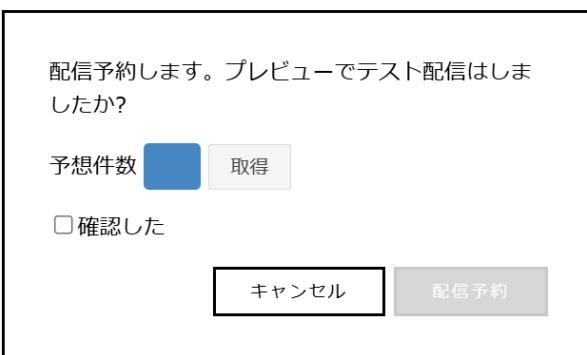
- 2.6. 【コンテンツ作成画面】テスト配信で、短縮URL利用可能に**
 プレビュー画面からテスト配信する際、テキストメール本文に短縮URLが利用されている場合に、短縮URLのままテスト配信できるようになりました(従来は、本番配信のみ、短縮URLで配信されていました)。
- 2.7. 【コンテンツ作成画面】一括設定URLパラメータで、会員別の変数差し込みに対応**
 #[[と]]#でスクリプトを囲むことで、会員ごとに変動する値を設定できるようになりました。



たとえば、下記のように設定すると、メール本文にあるすべてのURLに、会員ごとの会員予備項目1(dim1)が自動で設定されます。
 (例) <https://good.mall.test?&test=12345>
 ※dim1の値が「12345」の場合



- 2.8. 【コンテンツ作成画面】配信確認ダイアログに、配信予想件数を追加**
 配信予約する際に表示される配信確認ダイアログにも、配信予想件数が表示できるようになりました。



2.9. 【配信レポート】送信リストの並び順のデフォルトを、配信日時の降順に変更

配信レポート内の「送信リスト」タブで確認できるリストの並び順のデフォルトを、「配信日時の降順」へ変更されました(従来は「メールアドレスの辞書順」)。

The screenshot shows the Mailer Report interface. On the left is a sidebar with various menu items under '顧客' (Customer), 'アップロード顧客' (Upload Customer), 'ファイル' (File), 'API', 'レポート' (Report), and '環境設定' (Environment Settings). The '配信履歴' (Delivery History) item is highlighted. The main area has tabs at the top: '概要' (Overview), 'コンテンツ' (Content), 'アクセス' (Access), 'クリック' (Click), '注文' (Order), 'コンバージョン' (Conversion), and '送信リスト' (Delivery List). The 'Delivery List' tab is selected. Below it are search fields for 'メールアドレス' (Email Address), '状態' (Status), '開封' (Open), 'クリック' (Click), and '表示件数' (Number of Items). A table titled '顧客ID' (Customer ID) lists 10 items. The columns are '顧客ID', 'メールアドレス' (Email Address), '配信日時' (Delivery Time), '状態' (Status), '開封' (Open), '開封日時' (Open Time), and 'クリック' (Click). The table is sorted by delivery time in descending order.

顧客ID	メールアドレス	配信日時	状態	開封	開封日時	クリック
*****		2021-11-03 14:30:04	完了	✓	2021-11-03 14:30:11	
*****		2021-11-03 14:30:03	完了	✓	2021-11-03 14:30:11	
*****		2021-11-03 14:30:03	完了	✓	2021-11-03 14:31:18	
*****		2021-11-03 14:30:03	完了	✓	2021-11-03 14:31:12	
*****		2021-11-03 14:30:03	完了	✓	2021-11-03 14:35:27	
*****		2021-11-03 14:30:01	完了	✓	2021-11-03 14:20:06	
*****		2021-11-03 14:30:01	完了	✓	2021-11-03 14:31:07	
*****		2021-11-03 14:30:01	完了	✓	2021-11-03 14:46:50	
*****		2021-11-03 14:30:01	パウンスキップ			
*****		2021-11-03 14:30:01	重複	✓	2021-11-03 14:30:11	

2.10. 【テンプレート】ラベル機能を追加

メルマガテンプレートにもラベルを付与できるようになりました。

The screenshot shows the Mailer interface with a modal window for labeling. The modal has tabs at the top: 'テキスト' (Text), 'HTML', 'メルマガ用' (For Mailer), and 'テスト用' (Test Use). The 'メルマガ用' tab is selected. Inside the modal, there is a search bar '名前で絞り込み' (Filter by name) and a checked checkbox 'メルマガ用'. At the bottom are buttons for '適用' (Apply) and '新規作成' (New Creation).

2.11. 【テンプレート】ユーザ作成のHTMLをそのまま保存するテンプレートを追加

ユーザが作成したHTMLメールマガジンのソースを、そのまま保存できるテンプレートが追加されました。

従来のテンプレートは、下記のように「要素」メニューと「ソース」メニューがあり、「要素」メニューではウィジェットをドラッグ&ドロップで配置したり、レイアウトやスタイルの設定がGUIで実施することが可能で、その設定内容が「ソース」に自動反映されるようになっております。

今回追加される、ユーザ作成のHTMLをそのまま保存するテンプレートは、「要素」メニューがなく、「ソース」のみとなり、ユーザのHTMLソースを自動補正しないようになっています。

The screenshot shows the MailerLite interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '個人用' (Personal) and 'サンプル' (Sample). Below the navigation is a search bar with a magnifying glass icon. A dropdown menu labeled 'オプションを隠す' (Hide options) is open. The main workspace contains three items:

- A large white box with a plus sign inside, labeled 'テキスト' (Text) below it. It has a 'Blank' tab and four small icons at the bottom.
- A box containing an image of a smartphone displaying a coupon, labeled '会員登録フォロー_3列' (Follow-up registration for members_3 columns) below it. It has an 'HTML' tab and four small icons at the bottom.
- A box with a plus sign inside, labeled 'HTML' below it. This box is highlighted with a red rectangle. It has a 'Basic' tab and four small icons at the bottom.

At the bottom of the interface, there's a toolbar with tabs for 'メール' (Email), '下書き' (Draft), and 'test'. Below the toolbar are two buttons: '戻る' (Back) and '保存' (Save). The main workspace area is also outlined with a red rectangle.

2.12. 【バウンスメール】配信成功したメールアドレスを、バウンスメールリストから削除

受信側のメールボックス容量超過等の一時的なエラーの場合、バウンスマールリストに該当メールアドレスが記録されますが、再度配信して配信成功した場合は、バウンスマールリストからは削除されるようになりました。

2.13. 【その他の設定】オプトアウト(バウンス登録)、オプトイン(バウンス削除)のAPIを追加

アンケート機能、またはECサイトのサーバからAPIを実行することで、ECIのバウンスマールリストにメールアドレスを登録(オプトアウト)、バウンスマールリストからメールアドレスを削除(オプトイン)することが可能になりました。

ctの値は、オプトアウトの場合は「0」、オプトインの場合は「1」を指定してください。

配信履歴
下書き

▼ API
メール
配信履歴
下書き

▼ レポート
タスクボード
利用レポート
開封率レポート

▼ 環境設定
テンプレート
ラベル (配信履歴)
ラベル (テンプレート)
バウンスマール
画像管理
デコ×絵文字
デコ×絵文字カテゴリ

その他の設定
差し込み変数設定
配信速度設定

□ オプトアウト/イン

アンケートでの呼び出し方 ⑦

```
(async () => {
  const aid = '1';
  const ct = '0';
  const ea = answers[0].answer[0];
  const host = location.host;
  const url = ('https:' === document.location.protocol ? 'https://': 'http://') + host + '/bounce';
  if (fea) {
    alert('システムエラーが発生しました。');
    return;
  }
  const result = await fetch(url, {
    method: 'POST',
    body: `aid=${aid}&ct=${ct}&ea=${encodeURIComponent(ea)}&t=__TOKEN__`,
    headers: {
      'Content-Type': 'application/x-www-form-urlencoded'
    }
  });
  if (!result.ok) {
    alert('システムエラーが発生しました。');
  }
})();
```

サーバでの呼び出し方 ⑦

```
curl -X POST \
  --data-urlencode 'aid=1' \
  --data-urlencode 'apiKey=llhKDpyfYl6MSoJTXDtdrYJFBOKUsaGpKHyrtQvrIDNPxkdPG3' \
  --data-urlencode 'ct=0' \
  --data-urlencode 'ea=メールアドレス1' \
...
--data-urlencode 'ea=メールアドレス2' \
http://localhost:8080/bounce
```

3. アプリ通知

3.1. 【コンテンツ作成画面】アプリを選択するプルダウンを追加

複数のアプリを連携している場合、どのアプリへ配信するかを、コンテンツ作成画面で指定できるようになりました。

配信情報

配信名	<input type="text"/>
ラベル	
アプリ	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"><input type="button" value="アプリ1"/> <input type="button" value="アプリ2"/> <input type="button" value="アプリ3"/> <input type="button" value="アプリ4"/></div>
顧客グループ	
予想件数	<input type="button" value="1件目"/> <input type="button" value="次へ"/>
最大送信件数	<input type="text"/>

4. ライン

4.1. 【コンテンツ作成画面】変数と絵文字の同時利用が可能に

変数と絵文字を同時に利用できるようになりました。

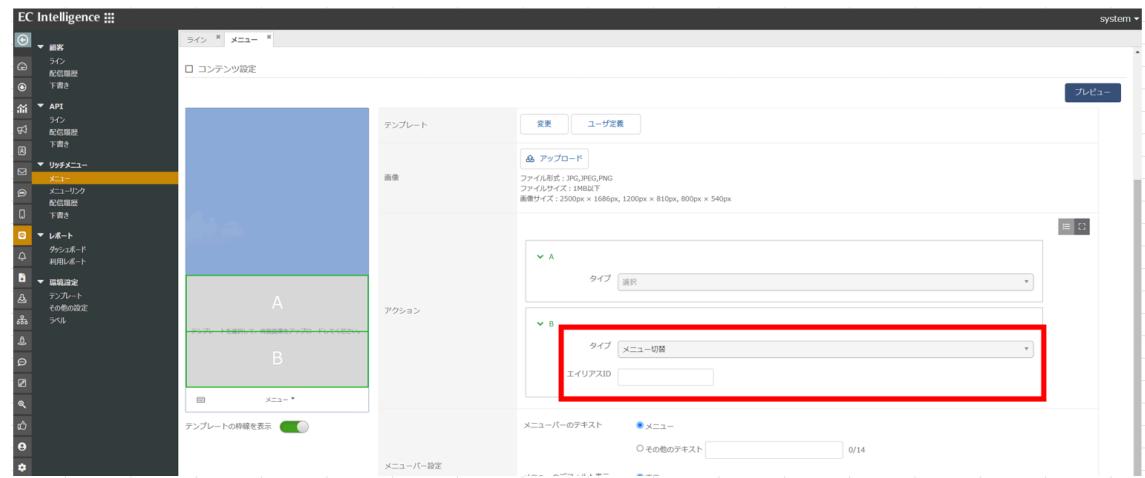


4.2. 【リッチメニュー】タブ切り替え機能に対応

リッチメニューで、タブ切り替えができるようになりました。

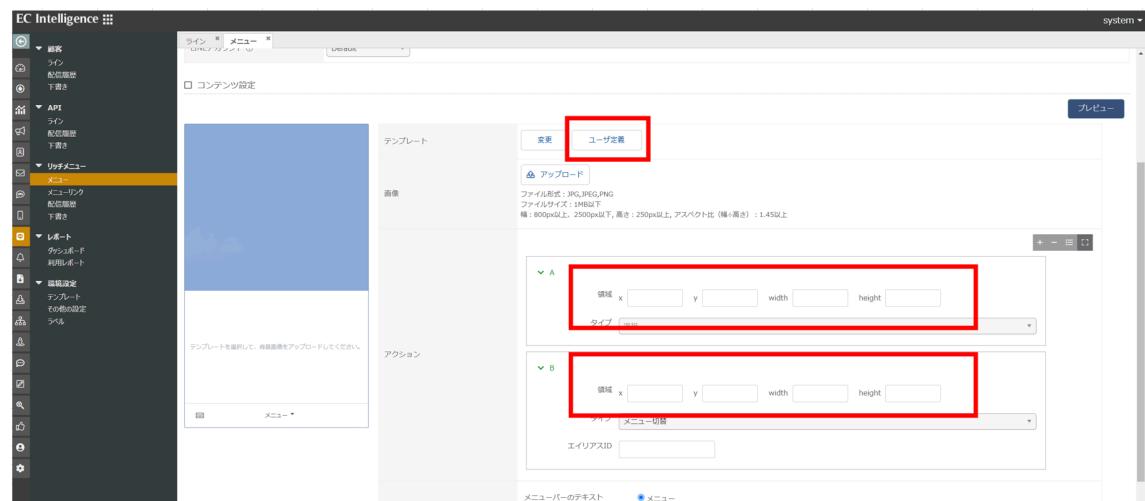
タブ切り替えのレイアウトが利用できることで、これまで以上に多くの情報を分かりやすくユーザへ配信することが可能になります。

また、ユーザ属性別(例: 無料会員、有料会員)や目的別(例: 店舗情報、予約)でタブを分けることで、適切なメニューへの誘導が可能になります。



4.3. 【リッチメニュー】テンプレート以外の、ユーザ定義のコンテンツ領域が指定可能に

リッチメニューのコンテンツ領域を、テンプレートではなく、ユーザが定義したものを指定できるようになりました。



5. メルマガ、SMS、アプリ通知、ライン、ブラウザ通知、ファイルなどの配信チャネル

5.1. 送信件数制限機能を追加

ユーザに、1日に送信する件数を制限できるようになりました。

すべてのチャネル(アナライズのレポートメール、顧客メニューのメールは対象外)で利用可能です。

チャネルごとに送信件数を設定可能です(例: メルマガは1日3通、LINEは1日2通)。

別途、有料のオプションとなりますので、ご利用希望の場合は弊社サポートセンターへお問い合わせください。

5.2. 配信日時設定で、月末の指定が可能に

配信日時の指定において、月末を指定できるようになりました。

The screenshot shows a user interface for setting up a recurring schedule. At the top, there's a checkbox labeled '繰り返し' (Recurring) which is checked. Below it is a section titled '繰り返しスケジュール' (Recurrence Schedule) with a '毎月' (Monthly) button selected. A monthly calendar grid is displayed, showing days from 1 to 31. The day '31' is highlighted with a red box. There are three radio button options above the calendar: '無期' (Infinite), '毎年' (Every year), and '特定' (Specific). To the left of the calendar, there's a section titled '繰り返し期間' (Recurrence Period).

6. ターゲット抽出

6.1. 禁則文字(%など)を入力を制限

%や?など、Windows、MacOS、Linuxの各OSで共通の禁則文字をファイル名の文字として使用できないようになりました。

□ 基本情報

The screenshot shows a download configuration form. On the left, there's a field labeled 'ダウンロード名' (Download Name) containing the value '%/download.csv'. To the right, there's a note in red text: '入力値に使用できない文字(¥ / : * ? " < > | %)があります。' (There are characters that cannot be used in the input value (¥ / : * ? " < > | %)).

7. セグメント

7.1. 【顧客グループ設定画面】セグメント変更時にアラートを表示

顧客グループ設定画面において、ゴミ箱アイコンを押してセグメントを外したり、セグメント内容変更後に保存ボタンを押さずに「戻る」ボタンを押した際に、下記のようなアラートが表示されるようになりました。

▼セグメントを外した場合



▼セグメント内容変更後、保存前に「戻る」ボタンを押した場合



7.2. 【顧客セグメント設定画面】「メルマガ」属性に「クリック日時」項目を追加

顧客セグメントの「メルマガ」属性に、「クリック日時」、「クリック日時(絶対日指定)」が追加されました。

The screenshot displays the 'メルマガ' properties section of the customer segment settings. At the top, there is a header '属性' (Properties). Below it, several filter fields are listed, each with dropdown menus for operators like '合む' (Match), '開封日時' (Open time), '等しい' (Equal), and '選択' (Select). Some fields have calendar icons. A red box highlights two new fields at the bottom: 'クリック日時' (Click time) and 'クリック日時(絶対日指定)' (Absolute date specified click time).

7.3. 【顧客セグメント設定画面】「会員」属性に「所持ポイント」「最短ポイント有効期限」項目を追加

顧客セグメントの「会員」属性に、「所持ポイント」、「最短ポイント有効期限」が追加されました。

The screenshot shows a form for setting customer segments. At the bottom, there are two new fields highlighted with a red box: '持込ポイント' (Top-up Points) and '最短ポイント有効期限' (Minimum Valid Period for Points). These fields are part of a section where you can search by age, birth month, birth month after n months, birth date, top-up points, and minimum valid period.

8. 接客

8.1. 【サービス設定画面】経過時間ごとに表示できる条件を追加

サービス設定画面の「表示条件 > 配信頻度」に「経過時間度に表示」が追加されました。

単位は「日」、「時」、「分」、「秒」から選択可能です。

下図は、「1時間ごとに表示」を意味します。

The screenshot shows the 'Delivery Conditions' section of the service settings. Under 'Delivery Frequency', there is a new option '経過時間度に表示' (Display by time interval) highlighted with a red box. Below it, under 'Elapsed Time', there is a field where '1' is entered followed by a dropdown menu with '時' (Hour) selected, also highlighted with a red box. Other options like 'アクセス毎に表示' (Every access), 'セッション毎に表示' (Every session), and 'ユーザー毎に表示' (Every user) are also shown.

8.2. 【プロモーション設定画面】class名、id名、変数名の動的置換機能追加

プロモーション設定画面の「スクリプト」で、HTML、CSS、Javascriptで利用しているclass名、id名、変数名、関数名に「\$\$」を付けると、実際に接客プロモーションが差し込まれるタイミングで、「\$\$」部分が動的にランダムな文字に置換されるようになりました。

同じテンプレートや、同じclass名、id名、変数名を使用した2つ以上の接客が同一画面に出力される場合、CSSやJavascriptの記述が被ってしまい、表示崩れや予期せぬ動作が発生することがありました。この機能でその問題が解消できます。

▼プロモーション設定画面 > スクリプト

The screenshot shows the EC Intelligence website's 'Script' configuration screen. On the left, there are three tabs: 'HTML', 'CSS', and 'Javascript'. The 'HTML' tab contains the following code:

```
<div class="sci-window">
  <div class="sci-card$$">
    <div class="sci-card-close$$" onclick="Scinable.Util.closeWindow(this);"></div>
    <div class="sci-card-title$$">$title</div>
    <div class="sci-card-content$$">$content</div>
  </div>
```

The 'CSS' tab contains the following code:

```
.sci-card$$ {
  position:fixed;
  width:$body.width.value;
  $(body.position.value):20px;
  bottom:10px;
  color:$body.color.value;
  background:$body.background-color.value;
  text-align:center;
  box-shadow: 0 3px 5px rgba(0,0,0,.2);
  padding:20px;
  z-index: 2147483647;
}
```

The 'Javascript' tab is currently empty.

The main content area features a large banner with the text "ECサイト運用でお困りのご担当者様へ これさえあれば 他はいらない" (For those who are troubled by EC site management, this is all you need). It also includes a brief description of EC Intelligence's features and a call-to-action button.

▼実際のソースコード

```
<div class="sci-window">
  <div class="sci-card411710">
    <div class="sci-card-close411710" onclick="Scinable.Util.closeWindow(this);"></div>
    <div class="sci-card-title411710">サービスのご案内</div>
    <div class="sci-card-content411710">ご来店頂き有難うございます。当店は、ご購入後の返品・交換が無料です。お気軽に商品をお試しください。</div>
    <div class="sci-card-link411710"></div>
  </div>
```

8.3. 【接客効果測定】検索条件に、「サービス名」を追加

接客効果測定画面で、サービス名で接客サービスを検索できるようになりました。

接客	表示数	ユニーク表示数	クリック数	クリック率	CV	CV(クリック)	CV率	CV(クリック)率	クリックCV率
HTML Promotion	39	8	0	0.00%	0	0	0.00%	0%	0%

8.4. 【接客効果測定】測定指標「クリックCV率」を追加

接客効果測定画面に、「クリックCV率」が追加されました。

クリックCV率は、各サービスごとの「CVに至ったクリック数 / 総クリック数」を表示します。

8.5. 【テンプレート】ラベル機能を追加

接客テンプレートにラベルを付けることができるようになりました。

ブラウザ バナーカード
接客用

名前で絞り込み

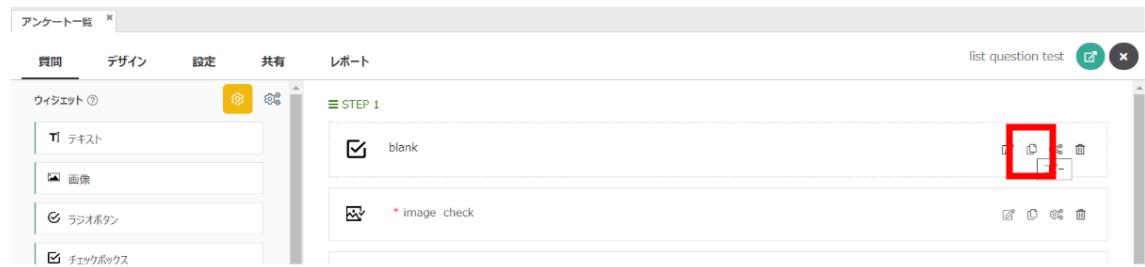
接客用

適用 新規作成

9. アンケート

9.1. 【アンケート設定画面】ウィジェットのコピー機能を追加

アンケート設定画面で、ウィジェットがコピーできるようになりました。



9.2. 【アンケート設定画面】タイトルや説明文の編集機能を強化

各ウィジェットのタイトルや説明文を入力する箇所の編集機能が強化されました。



9.3. 【アンケート回答画面】必須項目の入力漏れ時に、該当箇所までスクロールされるように

アンケート回答画面で、入力必須の項目が入力漏れ状態で次の画面へ遷移しようとすると、該当箇所までスクロールし、入力漏れの箇所が分かりやすくなりました。

質問数が多く、縦に長いアンケートの場合に、入力漏れの項目へすぐへアクセスできるようになります。

質問1*

質問2*

質問3*

質問4

質問5

質問6

↓ 質問1だけ回答

質問2*

入力してください。

質問3*

入力してください。

質問4

質問5

質問6

質問7

10. 顧客

10.1. 【顧客管理画面】検索条件に「電話番号」、「Line ID」を追加

顧客管理画面の検索ダイアログで、電話番号、Line IDで検索できるようになりました。

電話番号はsms.tsvで連携されている電話番号(tel_no)、Line IDはLINE連携時に取得したLINEユーザIDが検索対象です。

11. サーチ

11.1. 【検索API】リクエストパラメータに「allValue」を追加

検索APIのリクエストパラメータに「allValue」が追加されました。

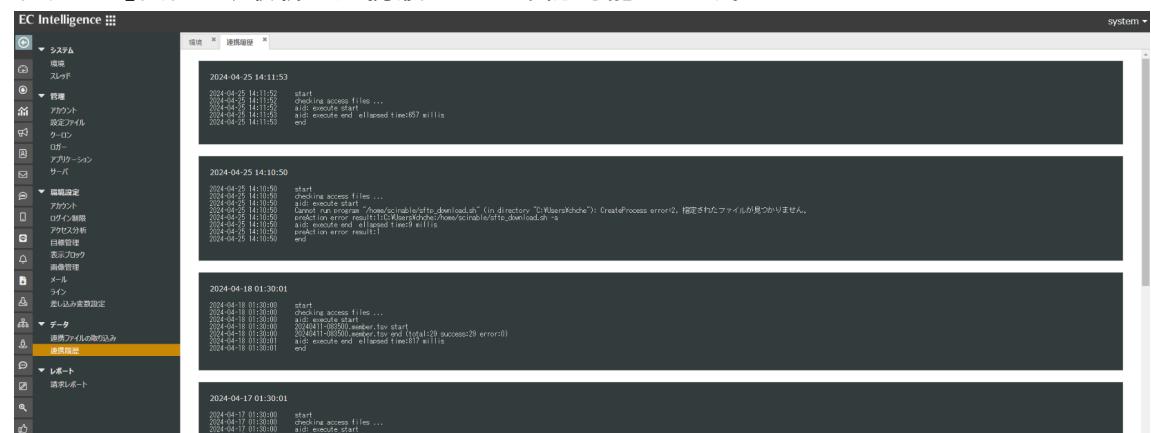
allValue=trueでリクエストすると、string項目、number項目に複数の値が連携されている場合に、セミコロン区切りですべての値をレスポンスします。

allValue=falseでリクエストすると、従来通り、string項目、number項目の最初の1つの値だけレスポンスします。

12. システム

12.1. 【連携履歴】直近1ヶ月間の連携履歴が確認可能に

「システム>データ>連携履歴」画面が追加され、直近1ヶ月間の連携履歴を確認できるようになりました(従来は「システム>データ>連携ファイルの取り込み」画面で、最新の連携履歴のみ確認可能でした)。



13. データ連携

13.1. 各種連携ファイル(item.tsv、member.tsv、order.tsv等)をCSV形式にも対応

連携データファイルはTSV形式のファイルのみ連携可能でしたが、CSV形式のファイルも連携可能になりました。

13.2. 会員データファイル(member.tsv)に、「所持ポイント」「最短ポイント有効期限」の項目を追加

member.tsvに、新たに「member_point(所持ポイント)」、「point_expiration_date(最短ポイント有効期限)」が追加されました。